

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 中島 朝可・橋本 詩保

質問票による取引先管理をより効率化するために

このブログでも、過去に、『サプライチェーン リスク マネジメント』というキーワードを出したことがあります。

この単語ですが、最近では、経済産業省(※1)(※2)やIPA（独立行政法人 情報処理推進機構）(※3)(※4)の発表資料で使われることが多くなってきました。

また、この『サプライチェーン リスク マネジメント』ですが、これから導入しようとしている組織、既に導入が進んでいる組織もあると耳にします。

既に『サプライチェーン リスク マネジメント』を導入されている企業のお話を伺うと、多くの企業で、セキュリティの態勢に関する質問票をスプレッドシートで作成して、メールで取引先に送付、その回答を基にマネジメントを行うという形態を取っていらっしゃるようです。

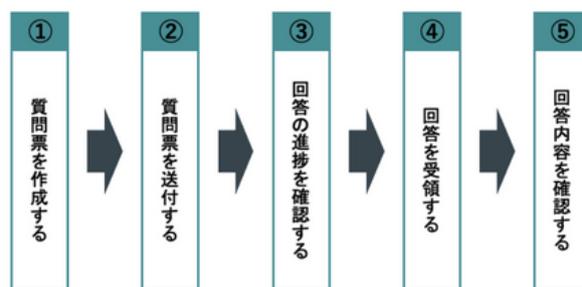
これらの組織が、異口同音におっしゃることとして、

「質問票の管理をスプレッドシートとメールで行っており、管理がとても煩雑。」

というものです。

企業によっては、数多くの取引先とビジネスを行っています。それらに対する管理をスプレッドシートとメールに頼っている、確かに大変です。

質問票を利用した『サプライチェーン リスク マネジメント』のライフサイクルは以下のようなステップでしょうか。



続きをご覧になりたい場合は

メーカーBlog^

[HTTPS://SECURITYSCORECARD.COM/QUESTIONNAIRE-MANAGEMENT-JP](https://securityscorecard.com/questionnaire-management-jp)

